

第2回 新春夢を語る

村民主張大会

二月二十四日(日)、四年振りの大雪が降る中、農環センターで第二回の新春夢を語る村民主張大会が行われました。

小さい夢から大きな夢まで、十六人の人がそれぞれの夢を語ってくれました。ただの夢にするだけでは…こういつた村民の声を大切にしていこうとこそが、今、最も大切なのです。



「月潟村の未来」

月潟小学校四年 小出結花さん

私は、将来月潟村がこうなっていると思うことがあります。ひとつ目は、私は本を

読むことがとても好きなので、図書館があつたらいいなと思います。今、公民館の中にも図書室がありますが、子供向けの本がありません。そこで、保育園の子供から大人まで通うことのできる大きな図書館がほしいです。できれば、二階建ての図書館がいいなと思います。そうならば、休みの日などに家族全員で出かけることができ、とても楽しいと思います。

二つ目は、村民の健康のことです。月潟村民の誰もが病気をしない、健康な人ばかりになると思います。



「月潟村の将来」

月潟小学校六年 関本由香さん

私達の住んでいる月潟村。

ほかの町や村に比べて自然はある方だと思っています。でも、公園など、みんながくつろげ

る場所がありません。月潟村は、面積が狭いのに工場などの建造物が増え、自然がどんどん減ってきているように思えます。

理教室は、みんなで楽しみながら作って食べるのが最高です。スポーツ大会は、バドミントンがとてもおもしろいし、バスケットならシュートすると気持ちがとてもいいからです。ほかのスポーツもあるといいなと思います。

私がふやしてほしいなと思う活動は、キャンプとか、大勢の人たちができる料理教室や、スポーツ大会などです。その理由は、キャンプは、私が一度も行ったことがないので、一回でも参加をしてみたいなあと思ったからです。料理場所がありません。

びと遊んだりしていました。自然っていいものだなあってこのとき、実感したので。このようなすばらしい自然を保護できる公園がほしいです。お年寄りや子供が、自由に行き来できる場所、散歩できる道、木や花が沢山あるそんな公園。月潟村にあってほしいです。ほかの町や村には無い、月潟村に自然を守れる公園ができたら、どれだけすばらしいかわかってみたい。自然をいろいろ工夫して遊べばおもしろいと思います。

それに自然は、人間の生活に無くてはならないもの、その自然、私は、もっと大切にしたい。



「夢」

月潟中学校二年 登石師美さん

月潟村は昨年、環境改善センターというすばらしい施設が出来ました。それに加えて新しい月潟中学校の建設も予定されていて、近代化の波にのってきています。しかし、それだけでは何か物足りません。そこで僕は、もっと公共施設を増やすことを提案します。隣りの中之口村では、村営の体育館があります。これまた隣の白根市では昨年、カルチャーセンターという施設が出来ました。そして、い

ろいろな大会などが開催されています。何年かすれば、いろいろな施設が出来てくると思います。ですから、そういう点で月潟村は白根市や中之口村に少し遅れをとっているように思います。しかし、月潟村にも、村営体育館などの公共施設が出来れば、遅れをとるもどせるのではないかと思います。むしろ白根市や中之口村より一歩も二歩も先に出れるかもしれません。そして、そこでのいろいろな大会などを開催するのです。そうすれば、いろいろなところから来た人達が、「月潟にもこんないい施設があるんだなあ」などと驚くと思います。それに地元開催となれば地元選手がはりますと思います。

こういったことは、すぐ出来るわけでもないし、多額の費用もかかると思います。この先、何十年たっても僕は、ここに書いたことを望みます。



「村の農業を振興させる」

月潟中学校三年 横山晃三さん

近年、農業のバイオテクノロジーが急速に発展している。僕はこの点に注意してみた。普通の農法で育てた作物とバイオテクノロジーで育てた作物を比較すると、バイオテクノロジーで育てた作物の方が収護量が二倍、三倍と多いのである。

そして、バイオテクノロジーでは、土を使わず培養液で育てている。そのため、土はほとんど使われなくなってくる、そうすると村はこの土地

ている都会の人達に美しい自然を見せてあげられたら、すばらしいと思います。

村の人達も喜ぶかもしれない。本当に実現したらいいと思います。

こんな私の夢が、実現できたら、どんなにうれしいか。

は、なく、団体でやってみるか、村が援助をしてくれるのか、この問題は解決するのではないかなと思う。

さらに、バイオテクノロジーは、労力をほとんど使わず全部コンピューター制御だから、若い人でも仕事をいやがらずに働くことができ、注目を浴びることでしょう。

時代最先端をいくバイオテクノロジー。それは、もっともって開発されていくはず。この村にも、バイオテクノロジーを取り入れ、農業を振興してはどうでしょうか。



「環境と自然の保護」

登石 清さん

毎年六月初旬に行われる白根の大風合戦は、非常に大規模だが、個人としてやるので